

令和6年度 千葉市生活支援コーディネーター

若葉区 第1層協議体

テーマ：高齢になつても社会参加可能な若葉区の地域づくり

※ SCは生活支援コーディネーターの略称

1 概要

日 時：令和7年2月17日（月）
14時～
場 所：若葉保健福祉センター

2 目的

高齢者の支援ニーズと地域資源とのマッチングに向け、多様な主体と情報を共有することで、連携の推進及び協働した資源開発を推進する。

3 参加団体 計：16団体 23名

高齢者施設、若葉いきいきプラザ、千葉地域リハビリテーション広域支援センター、生活自立・仕事相談センター若葉、若葉区 地域づくり支援課、健康課、高齢障害支援課、あんしんケアセンター、社会福祉協議会若葉区事務所、若葉区 第1層・第2層生活支援コーディネーター（第1層は区域、第2層はあんしんケアセンターと同じ圏域を担当）

4 協議体設置に至つた経緯

【令和5年度の取組】

住民主体の活動団体（支えあい活動団体、自治会、老人クラブ等）と地域連携に関心のある団体（高齢者施設、介護事業所、民間企業、NPO法人等）、あんしんケアセンター及びSCの顔合わせを実施。

あんしんケアセンター毎に意見交換を行い、高齢者が主体的に活動出来る場（機会）の創出に向けたネットワークづくりを目指した。

【令和6年度の取組】

前年度の協議体参加団体が連携して取り組んだ事例を中心に共有し、地域連携による具体的な活動についてアイデアを出し合い、さらなる連携・協働の拡充を図る。

5 内容

- 生活支援コーディネーターの役割及び第1層協議体の振り返り
- 高齢者施設等の社会貢献の取組や関係者の業務取組の共有
- あんしんケアセンターが把握する地域課題の共有
- 高齢者の社会参加の観点から、ニーズについて意見交換
- 前出ニーズに対し、あつたらいい資源について意見交換
- 今後の第1層協議体のテーマについて意見交換



6 結果

高齢者福祉施設等からの意見交換

- 会社の取組として、高齢者から若い方まで社会参加可能な地域づくりを行う。
- 社会福祉法人の命題と事業目的を兼ねた取組を行う。
- 会社の方針として、地域の方々とどう共生していくか、活動をどうするかが課題と考える。
 - ・ 地域住民（高齢者）がやりたいことをどんどんやってもらいたい。
 - ・ 地域ニーズが把握出来ていない。
 - ・ 助成金や予算化の仕組みも考えたい。



ニーズについての意見交換

- (地域課題) 担い手の不足
 - ・ 高齢化に伴い、通いの場の活動が終了
 - ・ 生活基盤の支援も地域活動担い手発掘に必要
- (地域課題) 移動支援
 - ・ 通いの場へ行きたくても行けない人
 - ・ 交通手段の空白により外出機会が減



あつたらいい資源についての意見交換

- (地域課題) 担い手の不足
 - ・ 役割の細分化
 - ・ 楽しみな企画
 - ・ 情報発信の具体化
 - ・ ちばシティポイント等の活用
- (地域課題) 移動支援
 - ・ 福祉施設等の車、ドライバー協力のノウハウ共有
 - ・ 通いの場（施設）の活動と買物支援（移動支援）を組み合わせて実施
 - ・ スマホアプリ（タクシー）利用に向けたスマホ講座開催
 - ・ 「ご自由にお掛けください」の椅子の設置



37

- 高齢者の社会参加及び生活支援に繋がる地域資源の充実に向けた取組について、活動継続に向けた率直な意見交換が出来た。
- 新たなネットワーク構築に向けたアイデアを得た。
- 地域資源の創出に向け、構成員と協働した取組に繋がっている。



7 今後に向けて

- 令和7年度は、区の特色を活かし広く**多様な福祉施設等へ（高齢者や地域の）ニーズについて情報発信**を行い、より多くの高齢者の**身近な地域に、連携・協働による多様な交流の機会**を見出したい。
- 買物に課題を持つ地域において、社会福祉法人による買物支援について新たに検討が始まった。施設にとっては、社会貢献活動を通じた地域（住民）との交流の機会であり、住民にとっては、生活支援にとどまらず地域交流や見守りにもなる取組である。
- **移動支援に**関心のある**多様な主体**へ声掛けし、取組の推進を図る。
- **フレイル高齢者や孤立する高齢者等の暮らしの問題**について、個別相談から**地域課題の把握**に努める。

8 担当

若葉区 第1層生活支援コーディネーター
【TEL】043-233-8181
【所在地】〒264-8550 千葉市若葉区貝塚
2-19-1 若葉保健福祉センター内

千葉市生活支援コーディネーター



千葉市
ホームページ

